

会 議 録

会議名 (審議会等名)	市民大学「あじさい大学コース」検討委員会（令和6年度第3回）		
事務局 (担当課)	高齢・障害者福祉課 電話042-769-8354（直通）		
開催日時	令和6年12月6日（金）午前10時00分～午前11時00分		
開催場所	会議室棟 1階 第1会議室		
出席者	委員	8人（別紙のとおり）	
	その他	0人	
	事務局	7人（高齢・障害者福祉課長、他6人）	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由			
議 題	<p>1 あいさつ</p> <p>2 議題</p> <p>（1）令和7年度以降の講座案について</p> <p>ア 第2回市民大学「あじさい大学コース」検討委員会での意見</p> <p>イ 基本的な方針（修正案）について</p> <p>ウ 令和7年度以降の講座案について</p> <p>（2）その他</p>		

議 事 の 要 旨

主な内容は次のとおり。

1 あいさつ

(小林委員長)

今までの2回に渡る検討委員会にて、皆さんの多彩な経験に基づく意見と事務局による丁寧な調査活動が相まって、基本方針の見直しを行い、それをベースに令和7年度からのあじさい大学コースの案がまとまった。

本日は、その確認と何らかの修正等を含め検討いただき、さらにバージョンアップをして最適解に迫っていかねばと考えている。

また、本日は生涯学習センター所長、文化振興課担当課長、高齢・障害者支援課長、高齢・障害者福祉課長に臨席いただいているため、総括という意味であじさい大学コースに寄せる思いや感想等を語っていただければと思う。

2 議題

(1) 令和7年度以降の講座案について

「資料1～3」および「さがみんなナビリーフレット」により事務局から説明を行い、意見交換を行った。

(小林委員長)

丁寧に委員の意見を反映し、作成いただいたものであるのですが、確認という形になるかもしれないが、質問でも、あるいは将来的にこんな形になると良いというような意見等でも良いので、何かあれば伺いたい。

(小林委員)

委員長がおっしゃったとおり、よく委員の意見を反映してまとめていただいていると思う。

特に言うこともないが、このあじさい大学コースの見直しのきっかけは「『効率的な運営をしていくことが大切』ということで、民間のカルチャーセンターや市民サークルで開催しているようなものは重複しないよう、あじさい大学コースでは開催せず、そちらに委ねていこう」ということだったと思うが、なかなかスムーズに移行が進まないということで、あじさい大学コースは「きっかけづくり」という形で進めていこうとなった。

希望的なことであるが、受け手側のサークル等も併せて、体験講座や体験会といった体験的なものを開催するような雰囲気づくりが必要かと思う。

また、行政としては色々なことが難しいと思うが、サークルの会員を募集する際は「体験的なことを開催していきましょうよ」とサークル等に投げか

けをする、また、会員を募集しているサークルを一同に集めて勧誘会のようなイベントを開催し、対面する機会を設ける等も、加入を検討する人にとってはありがたいと思うので、一つの案として申し上げる。

(事務局)

第2回目の検討委員会で委員から「公民館と生涯学習センターともつながっていくと良い」という意見もあったため、先ほど紹介した「さがみんなナビ」への掲載等も現在調整を進めているところであり、色々なサークル等を巻き込んで進めていきたいと思っている。

また、小林委員から意見をいただいた「サークルを一同に集める勧誘会」等であるが、現状、例えば市文化協会が開催している文化祭等がある。

そのような各サークル等で行っているイベントや体験会等をあじさい大学コースで周知を進めていければ良いかと思う。

(大谷委員)

資料1の6ページ(イ)の表中、「健康体操(体験・学ぶ)・(伝える)」について、令和4年度から令和6年度は緑区での開催があり、令和7年度から令和9年度までは緑区での開催はないということである。

色々と配慮してそのようになったのかとは思いますが、何か寂しいと思った。

(長澤委員)

資料1の2ページk、i、mのオンライン活用および受講後の活動について、地域包括支援センターとの調整や、さがみんなナビへの掲載についての調整等、とてもありがたい。

さがみんなナビは公民館でも調整しており聞かれることが多いので、大々的に配架いただければと思う。

また、資料3の講座案についても今後公民館等に配架いただけるのか。

市民から公民館に聞かれても答えきれないため、市民に伝わるような方法でお願いしたい。

(事務局)

まず大谷委員からいただいた感想、意見について、「令和7年度から令和9年度まで、緑区で「健康体操(体験・学ぶ)・(伝える)」の開催がなくなる」、ということで、確かに市民から意見や質問等があることが想定される。

ただし、令和10年度以降はまた緑区での開催も含めて検討する予定である。

次に、長澤委員からいただいた質問で、3年間のあじさい大学コース講座案の周知についてであるが、市民大学の講義案内を前期・後期と分けて配架しており、そこで資料3の「令和7年度以降のあじさい大学コース3年間の講座案」の内容を掲載する予定である。

(堤委員)

案は本当に私たち委員の意見を反映いただいているというのが分かるが、2点、意見がある。

1点目は資料3の令和8年度後期に開催するバウンドテニスの開催時間についてである。

夜間の19時から22時に開催ということであるが、高齢者が夜に外出するのは難しいというようなことも聞く。

あじさい大学コースは高齢者の方が主な対象ということなので、可能であれば開催時間を夜間から変更いただければと思う。

2点目は大谷委員からもあったが、資料1の6ページ(イ)の表中、「健康体操(体験・学ぶ)・(伝える)」について、「過去3年間ずっと緑区で開催していたため、令和7年度から令和9年度までは緑区での開催はしない」ということであるが、それはあくまでも過去の実績であるので、令和7年度から令和9年度までの間も、緑区も含めて開催をしていった方がよいと思う。

(事務局)

バウンドテニスについては、講師を務める協会の方々普段は仕事をされているため、以前は18時台に開催をしていたが、協会から「18時台では間に合わない」という意見もあり、資料3の時間帯(19時から22時までの内2時間)で開催予定とした。

いただいた意見を踏まえ、今後、協会と土日の開催も含めて調整していく。

(堤委員)

一つの意見として、午前や午後の開催が多いので、検討をお願いできればと思う。

(事務局)

「健康体操(体験・学ぶ)・(伝える)」の緑区での開催についても、ご意見を踏まえ、再度検討させていただく。

(小林委員長)

堤委員からいただいた2点の意見については、改めて検討するということが良いか。

(事務局)

そうである。

(池田委員)

資料1の6ページ(イ)の表下の※印の内容について、今後も南区での開催はできないということか。

(事務局)

南区のユニコムプラザさがみはらや相模女子大学グリーンホールでの開催

であるが、これまでは講座を1年ごとに検討していたため、年末に翌年度の講座を検討していた。

ユニコムプラザさがみはらや相模女子大学グリーンホールの予約は1年前から可能であり、その時点では多くが埋まってしまい予約が取れないという状況だった。

ただ、今回の検討により、今後は3年間を一つの単位として講座を検討することとしたため、ユニコムプラザさがみはらや相模女子大学グリーンホールの予約ができるようになると思う。

3年間を一つの単位としたため、このようなメリットが今後あるということで、資料1の6ページ（イ）の表下の※印の内容を記載した。

（池田委員）

その場合、1年間ではできないということか。

例えば、今年であれば翌年度の令和7年度は南区（ユニコムプラザさがみはらや相模女子大学グリーンホール）で開催できないということか。

（事務局）

場所が空いていれば開催可能だが、ほとんど予約が埋まってしまっている。

また、あじさい大学コースの場合は同じ時間帯で6回以上の予約をしないといけないため、なかなか予約が取りづらい。

次年度以降の話であれば、来年の早い時期に予約ができるため、ある程度南区の会場も確保できると考えている。

（池田委員）

現在、令和10年度以降の講座案はまだ出ていないが、例えば令和10年度の会場を確保するには、令和8年度末までに予定していなければいけないということか。

（事務局）

そうである。

3年ごとに検討としているため、例えば初年度に開催が少ない地区、会場があれば翌年度以降はその会場での開催を増やす等、そういったバランスのとり方も可能かと思う。

また、本検討委員会は年に1回の開催を考えており、講座の案について、会場等のことも含め、また検討いただきたいと思う。

（池田委員）

あと1点、先ほどから「緑区での健康体操の開催が令和7年度から令和9年度までの間にない」ということで委員から意見が出ているが、資料3を見ると「令和8年度の健康体操は緑区のソレイユさがみセミナールーム1で開催」とある。

(事務局)

健康体操は依頼先が2つある。

資料1の6ページ(イ)の表の一番上に記載している「健康体操(体験・学ぶ)・(伝える)」は市体操協会に依頼している講座であり、その講座は今まで、令和4年度から6年度まで緑区での開催が多かったため、令和7年度から令和9年度までの間は緑区で開催をしない予定であった。

一つ下の「～セルフコンディショニング～」は青山学院大学フィットネスセンターの方に依頼している講座であり、令和4年度から令和6年度まで中央区、南区、緑区でおおよそ均等に開催できていたため、緑区での開催も含めて予定している。

(小野委員)

資料3のとおり、新たに令和7年度に卓球、令和9年度にはニュースポーツを開催予定ということで、新たに良い視点で取り上げていただいたと思っている。

事前に各協会に話をしたところ、市卓球協会も市レクリエーション協会も非常に快く引き受けていただいた。

特に市レクリエーション協会は「待っていた」という旨の回答で喜んでいました。

あじさい大学コースを通じて自分の種目を周知したいという思いが各協会にはある。ただ、講師の偏りという話も出たため、そのようなことも含めて、幅広く偏らないように今後も講座を選定いただければありがたいと思う。

(事務局)

協会も自分たちの種目の周知をしたいと思っていること、また、講師の選定という観点も踏まえて、講座が偏らないように今後も検討していきたいと思う。

(小林委員長)

具体的に、今回堤委員等から意見があったバウンドテニスを開催する時間帯等の件で、今回示していただいた案から変更がある場合、結果的にどのように変更したのか、今年度内はもう会議がないため、どのように示していただけるのか。

(事務局)

本日いただいた意見も踏まえて、最終的な案ができ次第、送付させていただく。

(小林委員長)

本日、オブザーバで参加している3所属の方からも一言いただきたい。

(オブザーバ：文化振興課担当課長)

検討委員会の中でも出てきたが、認知症予防等は体を動かすだけで良いというわけではないのだと思った。

今回、文化・芸術分野の講座が復活したため、文化を推進する立場としては大変うれしく思っている。

令和7年度から令和9年度まではこの案で開催すると思うが、文化・芸術分野は資料3の講座案に記載されているものだけでなく、幅広く色々あるため、そのことも踏まえてまた3年後に今後の講座を検討いただければ良いと思っている。

(オブザーバ：生涯学習センター所長)

様々な貴重な意見を伺い、今後も参考とさせていただきたいと思う。

生涯学習センターは市民大学全体のことを担当している部局であり、市民大学はあじさい大学コースの他にも、13の大学等が参加して、色々なコースを開催している。

また、相模原市と座間市がそれぞれ「行政コース」というコースを開催しており、最近はドローンの講座を開催し、非常に好評であった。

昭和40年にスタートをし、来年度で60周年を迎える。

非常に歴史のあるものであるため、今回の市民大学「あじさい大学コース」検討委員会で委員からいただいた意見も含めて、これからも市民の皆様に喜んでいただけるような、そんな講座を開催していきたい。

(オブザーバ：高齢・障害者支援課長)

介護予防等、このような事業に市民が参加していただくことは、とても有意義なことであり、これから高齢者が増えていく中、新たな仲間づくりや新たな活動のきっかけづくりとなり、興味を持ってより活動的で元気な方が増えることは、私共の願いであるため、こういった活動がもっと活発になれば良いと思う。

検討委員会の中で地域包括支援センターが話題に出たが、高齢・障害者福祉課や高齢・障害者支援課が所属している地域包括推進部がまさに所管している内容であるため、連携等、進めていきたいと思う。

(高齢・障害者福祉課長)

今年度は3回検討委員会を開催させていただき、忌憚のない意見をいただいて、私共は事務局であるが、新たな気づきを多く得られた。

そして、いただいた意見等に基づき、とても良い計画ができたと思っている。

また来年度以降も引き続き開催状況の報告等をさせていただくので、意見をいただきながら、あじさい大学コースをより良いものにしていきたいと思う。

(2) その他

(事務局)

本日が本検討委員会の今年度内最後の開催である。

今年度は今後のあり方等も含めて検討が必要であったため、年3回の開催とさせていただいたが、令和8年度および令和9年度は年に1回の開催とさせていただきます予定である。

なお、開催時期としては11月を予定している。

日程及び会場は、改めて調整させていただきたい。

(小林委員長)

ただいま、事務局より案内があったように、本日が本年度最終の検討委員会になる。

これからは、このコースが机上の空論で満足することのないよう、市民の方々の学びの実際を見つめ、見守っていくことが大切かと思っている。

なお、3回に渡る検討委員会において、副委員長の大神田委員を始め、委員の方々、並びに事務局を始め多くの方々には、お力添えいただき、深く感謝申し上げます。

閉 会

市民大学「あじさい大学コース」検討委員会（令和6年度第3回）
出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	小林 政美	社会教育委員会議 委員	委員長	出席
2	大神田 賢	相模原市老人クラブ連合会 会計	副委員長	出席
3	池田 直道	相模原市文化協会 会長		出席
4	大谷 政道	学識経験者 (元田名公民館長、元鹿島台小学校校長)		出席
5	小野 浩之	公益財団法人相模原市スポーツ協会 常務理事		出席
6	小林 輝明	社会福祉法人相模原市社会福祉協議会 常務理事		出席
7	堤 道子	相模原市民生員児童委員協議会 常任理事		出席
8	長澤 敬子	相模原市公民館連絡協議会 副会長		出席